

滋賀職業能力開発短期大学校 学生の活躍

第 63 回技能五輪全国大会 建築大工職種に出場！

□技能五輪とは

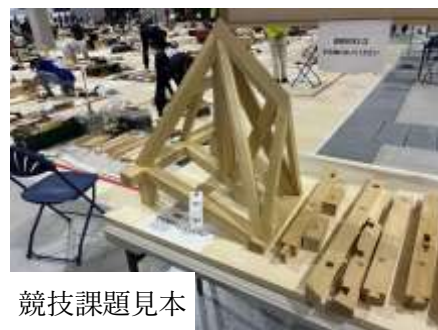
技能五輪全国大会は、全国の若手技能者がその技術力を競い合う、日本最大級の技能競技大会です。原則として 23 歳以下の若者が対象で、ものづくりの各職種において高度な技能を持つ選手たちが集い、技術の精度・スピード・創造性を競います。

この大会は、技能の重要性を広く社会に伝えとともに、若者の技能向上と職業意識の高揚を目的としています。

□建築大工職種とは

建築大工職種では、木造建築に関する高度な技術が求められます。競技では、設計図に基づいて木材を加工し、精密な組み立てを行うことで、構造物を完成させます。

寸法の正確さ、加工の美しさ、構造の安定性など、職人としての総合的な技能が問われる職種であり、伝統的な技術と現代の建築知識の融合が求められます。



競技課題見本

□沖田瑚白さん・深井琉聖さんの活躍

令和 7 年 3 月に住居環境科を修了した沖田瑚白さん（（有）ネヌケン所属）と深井琉聖さん（（株）安土建築工房所属）が、滋賀県代表として第 63 回技能五輪全国大会の建築大工職種に出場しました。

二人は学生時代の授業や実習の経験を基礎に、勤務先での経験や休日も自主的に母校で練習を重ね、技術力を磨いてきました。大会では、限られた時間の中で高精度な加工と組み立てを行い、滋賀県代表として堂々たるパフォーマンスを披露しました。

彼らの挑戦は、後輩たちにとっても大きな刺激となり、住居環境科の教育成果を示す素晴らしい実績となりました。



沖田瑚白選手



深井琉聖選手

□今後の展望

今後も滋賀職業能力開発短期大学校では、技能五輪をはじめとする技能競技大会への参加を通じて、学生の技術力向上と職業意識の育成に力を入れてまいります。